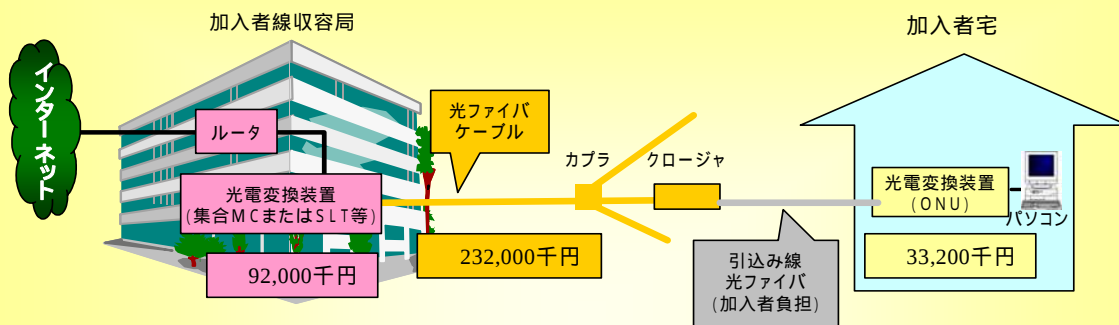


各ブロードバンドの整備コスト事例

FTTH(PON方式、SS方式)、ADSL及び無線(FWA)について具体的な整備事例をもとに提示。なお、設備構成、世帯分布の状況、地形、局舎の状況等の諸条件によりコストは変動するので、あくまで例示として提示する。

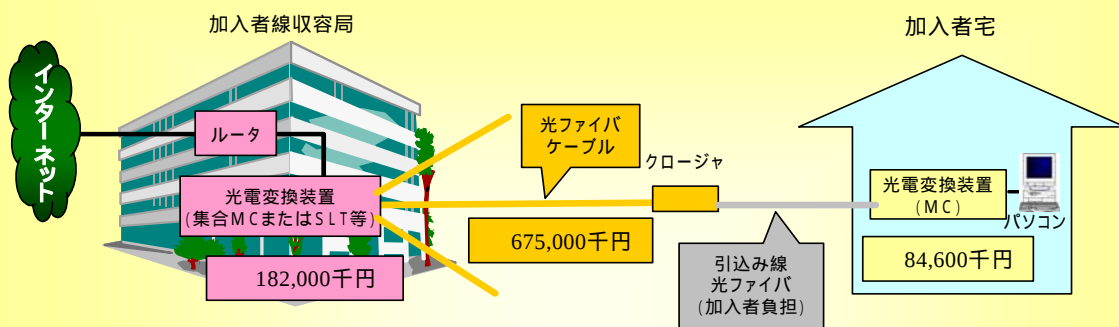
FTTHコスト事例 (整備対象世帯数:1,150世帯、PON方式の場合)



センター装置 (SLT、ルータ等)	約92,000千円
光ファイバ (工事費、材料費等) ケーブル長: 51km、最大芯線: 192芯	約232,000千円
宅内装置 1,150台	約33,200千円
合計 (1世帯あたり整備コスト)	約357,200千円 (約311千円)

○ 人口約4,000人の自治体。(世帯密度は28.8世帯 / km²)

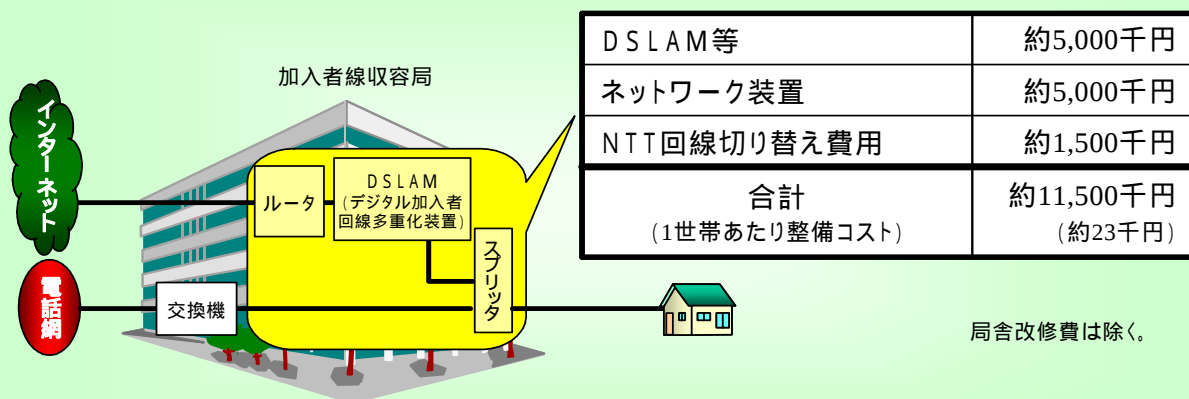
FTTHコスト事例 (整備対象世帯数:3,100世帯、SS方式の場合)



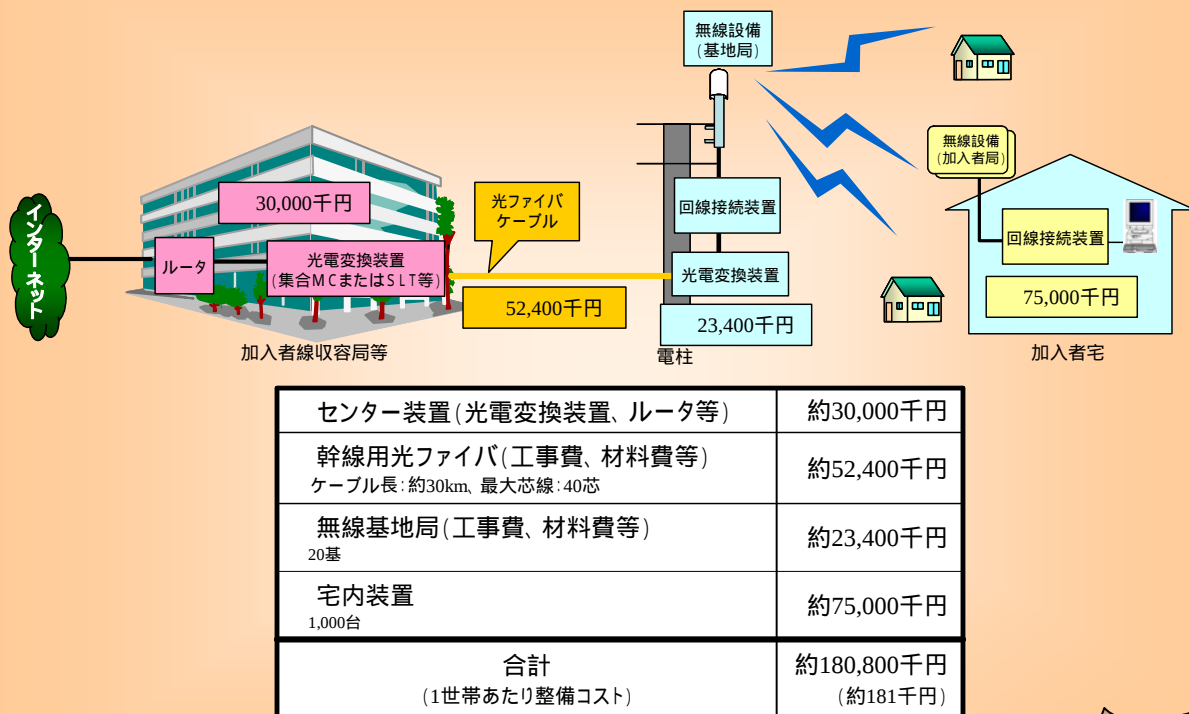
センター装置 (集合MC、ルータ等)	約182,000千円
光ファイバ (工事費、材料費等) ケーブル長: 221km、最大芯線: 1,664芯	約675,000千円
宅内装置 3,100台	約84,600千円
合計 (1世帯あたり整備コスト)	約941,600千円 (約304千円)

○ 人口約11,000人の自治体。(世帯密度は16.2世帯 / km²)

ADSLコスト事例(1収容局、500世帯対象の場合)



FWA(無線)コスト事例(整備対象世帯数:1,000世帯、26GHz帯方式の場合)



○ 人口約48,000人の自治体。(世帯密度は81.3世帯 / km²)